希少動物モニタリング

希少動物モニタリング

1 サンショウウオ科2種

サンショウウオ科2種の生息調査を実施した。

ヒガシヒダサンショウウオ *Hynobius fossigenus*

2023年5月11日と11月27日に西部地域で調査を行ったが、生息の確認はできなかった。

トウホクサンショウウオ *Hynobius lichenatus*

2023年4月25日に利根沼田地域で調査を行い、1地点で成体、幼体、卵のうを確認した。

(藤田 宏之・中澤 和則)

2 ホトケドジョウ

今年度（2023年度）は中部地域の1河川計6地点で口径30cmほどのタモ網による生息確認調査を行った。2地点で計7個体のホトケドジョウを確認した。

(相澤 裕幸・松井 裕之)

3 アオハダトンボ

アオハダトンボ（トンボ目カワトンボ科）は2019年の台風19号により、県内の河川、特に西部地域の河川は増水で植物が流出、2020年の調査ではほとんど確認できなかった。2021年の調査に引き続き、2022年は過去に本種が確認された河川を中心に、河川の植生の復旧の様子及び生息状況の確認を目的として調査を行った。

今年度（2023年度）の調査は、15河川について、28回実施した。

本種が確認できたのは7河川（西部地域8河川中3、東部地域4河川中3、中部地域2河川中0、利根沼田地域1河川中1）であった。その中で特に台風による増水とそのあとの河川改修で全く確認できなかった西部地域の1河川は昨年同様確認でき、ほぼ台風以前まで戻った。今後も継続して調査を進めたい。

(岡崎 太郎・荒井 堅一)

4 コオイムシ科昆虫

タガメ *Kirkaldyia deyrolli*、オオコオイムシ *Appasus major*、コオイムシ *Appasus japonicus* が対象種である。

今年度（2023年度）の調査は、5月から11月にかけて中部・西部・利根沼田地域13地点で4日間調査を実施した。

いずれの調査地点においても、対象種3種は確認できなかった。

(宮原 義夫・土屋 清喜)